

味の素グループは、「リスクマネジメントに関するグループポリシー」を定め、グループ経営戦略および各事業戦略と連動した戦略的なリスクマネジメントを推進し、企業価値の向上を図っています。

### リスクマネジメント体制

味の素グループは、ASVを通じた価値創造能力に実質的な影響を及ぼすマテリアリティを毎年見直し、各マテリアリティ項目よりリスクおよび機会を抽出しています。このうち、全社経営レベルのリスクおよび機会については、経営会議の下部機構として設置している経営リスク委員会にてその対応策を策定しています。経営リスク委員会では、気候変動、社会課題、技術革新に関わるものを含め、重大なリスクおよび機会を組織横断的に評価・管理するとともに、危機発生時にはタイムリーかつ適切に対応できる体制を整えています。経営リスク委員会での議論の内容は、年1回、経営会議および取締役会に答申しています。緊急性の高いテーマ等に関しては、個別の検討チームを編成し、方針策定や企画立案を行っています。

### リスクマネジメント推進体制



各組織レベル、事業レベルのリスクについては、自律的なリスクマネジメントを推進しており、各組織で毎年リスクの重要度を見直し、経営リスク委員会に報告する仕組みを構築しています。そして、顕在化した危機については、経営会議の下部機構である企業行動委員会がマニュアル類を整備し、これに則ってグループの各組織が事業継続計画を作成し、危機管理訓練等により準備状況の把握・点検を行っています。

### 主要なリスク

マテリアリティ項目ごとに抽出したリスクおよび機会とそれらに対する味の素グループの主要な取り組みについては、当社WEBサイトに公開しています。

▶ 詳しくは「マテリアリティー覧」をご覧ください。  
[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/csr/pdf/2020/materiality\\_jp.pdf](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/csr/pdf/2020/materiality_jp.pdf)

特に、財務面でのリスクおよび機会については以下の通り、第142期有価証券報告書に記載しています。

財務リスク	関連するリスクと機会(●リスク ○機会)
減損	●買収した子会社等の事業計画未達 ●金利の急激な上昇
資金調達	●金融危機による資金の枯渇 ●格付けの低下 ●各種リスク要因により計画を達成できないことで生じる追加の資金調達等のリスク発生、格付けの悪化
得意先の経営破綻	●海外を含めた予期せぬ得意先の経営破綻の発生
為替・金利変動リスク	●海外での事業活動の停滞 ●海外子会社業績の円貨への換算への影響
カントリーリスク	●収用リスク ●戦争や紛争等の発生リスク
租税制度の変動リスク	●制度改正による事業運営コストの増加(例：ブラジルにおける付加価値税) ○制度改正による将来税負担の減少(例：米国税制改正)
税効果の変動リスク	●○将来課税所得の見積り変更等による税金費用の減少または増加

▶ 詳しくは「有価証券報告書」をご覧ください。(日本語のみ)  
<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/securities.html>